

文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 学校法人尚絅学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 秋岡 廣宣

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	尚絅大学短期大学部
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・ <input checked="" type="checkbox"/> 短期大学・ <input type="checkbox"/> 高等専門学校・ <input type="checkbox"/> 専門学校)
大学等の所在地	熊本県熊本市中央区九品寺 2 丁目 6 - 7 8
学長又は校長の氏名	学長 山縣 ゆり子
設置者の名称	学校法人尚絅学園
設置者の主たる事務所の所在地	熊本県熊本市中央区九品寺 2 丁目 6 - 7 8
設置者の代表者の氏名	理事長 秋岡 廣宣
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	大学企画室・長谷川	096-277-1135	kikaku@shokei-gakuen.ac.jp
第2号の1	教務課・片野田	096-362-2011	kyomuk@shokei-gakuen.ac.jp
第2号の2	総務課・古澤	096-364-0116	somu@shokei-gakuen.ac.jp
第2号の3	教務課・片野田	096-362-2011	kyomuk@shokei-gakuen.ac.jp
第2号の4	大学企画室・長谷川	096-277-1135	kikaku@shokei-gakuen.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 () を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	F243310111389	学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園		

I. ①直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	2,213,830,821円	2,628,554,420円	-414,723,599円
申請2年度前の決算	2,250,446,023円	2,656,688,528円	-406,242,505円
申請3年度前の決算	2,397,850,192円	2,598,121,753円	-200,271,561円

I. ②直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,410,807,762円	1,176,902,676円	233,905,086円

II. 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	505人	387人	76%
前年度	570人	464人	81%
前々年度	620人	546人	88%

大学・短期大学・高等専門学校で、II. 申請校の直近3年度の全ての収容定員充足率が8割未満の場合
申請前年度に当該学校を卒業した者について、今年度(申請年度)5月1日時点の状況について

(A)又は(B)のいずれかを記載

・申請校の直近の進学・就職率の状況(A)学校基本統計を利用する場合

	卒業生数(G)	進学者数+就職者数(H)	進学・就職率(H)/(G)
申請前年度の状況			#DIV/0!

・申請校の直近の進学・就職率の状況(B)学校基本統計を利用しない場合

	進学希望者+就職希望者(I)	進学者数+就職者数(J)	進学・就職率(J)/(I)
申請前年度の状況			#DIV/0!

(I. ②の補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
固定資産	特定資産	809,507,377円
固定資産	有価証券	20,000,000円
流動資産	現金預金	581,300,385円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
固定負債	長期借入金	1,077,690,000円
固定負債	長期未払金	0円
流動負債	短期借入金	55,590,000円
流動負債	未払金	43,622,676円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	総合生活学科	/	0	0	7	7	7	/
	食物栄養学科	/	1		6	7	7	/
	幼児教育学科	/			6	7	7	/
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学ウェブサイトにおいて公表 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure) (URL : https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/) ※ゲストユーザーからログインし、添付書類の「実務経験のある教員一覧」を参照しながらシラバスを検索してください。</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学 WEB サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2021.4.1 ～ 2025.3.31	経営者として広く社会的知見を活かした経営計画策定への参画、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社役員	2023.7.12 ～ 2027.7.11	経営者として広く社会的知見を活かした経営計画策定への参画、組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚綱大学短期大学部
設置者名	学校法人尚綱学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>■尚綱大学・尚綱大学短期大学部授業計画作成ガイドライン (URL: https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学科の授業科目一覧 (URL: https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学部の授業科目のシラバス一覧 尚綱大学・尚綱大学短期大学部教務システム (URL: https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/) (ゲストユーザーからログインし検索)</p> <p>■授業履修の手引き COMPASS (初年次教育テキスト) (URL: https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■概要 授業計画書(シラバス)は、例年11月頃に全学委員会である教務連絡協議会において、次年度のシラバスの作成・点検期間を決定している。12月に授業担当教員を対象にシラバスの作成・注意点等について説明し、翌年1月下旬まで授業担当教員によるシラバス初校データ作成の後、シラバス点検委員の点検を受け、4月1日に公表している。</p> <p>授業概要(シラバス)は、教務システム(ユニバーサルパスポート)において、学生が履修する上で必要な事項、具体的には、事前・事後学修、成績評価方法、成績評価の割合(例:定期試験50%、レポート提出30%、小テスト20%)、実務経験のある教員などを記載している。また、学修への意欲を試験やレポート等で把握し、学修成果の厳格かつ適正な評価に基づき、単位を与えることとしている。</p> <p>授業計画作成ガイドライン及び履修の手引き等は大学ウェブサイトにて公表し、教務システム(ユニバーサルパスポート)を通してシラバスを公開している。</p> <p>なお、実務教員による授業科目については、上記の本学教務システムにおいて、実務経験のある教員一覧を参照できる。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 Web サイトにおいて公表。 https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp ※ゲストユーザーからログインし、シラバスを検索してください。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>■概要</p> <p>尚綱大学短期大学部学則第 12 条に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学短期大学部学則第 23 条及び第 29 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。</p> <p>本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関連しているかを明示するよう求める。</p> <p>具体的には「授業概要」「キーワード」「課題と評価の方法」「事前・事後学修及び学修時間の目安」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を達成し、学力試験及び受講状況その他により認定のうえ、合格した者に単位を認定するものとする。</p> <p>最終的に 2 年以上在学し、所定の授業を履修したうえで、62 単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。</p> <p>(根拠学則)</p> <p>尚綱大学短期大学部学則第 12 条、同第 23 条、同第 29 条</p> <p>https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf</p>	
3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>■GPA の算定について</p> <p>尚綱大学におけるグレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度に関する規程 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■GPA の種類及び算出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPA は、学期 GPA、通算 GPA に区分する。 ・GPA は以下の式により計算するものとし、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位を表示させるものとする。 ・総履修登録単位数は、GPA 算出対象の授業科目の合計履修登録単位数とする。 $GPA = \frac{(秀 4 \times 修得単位数) + (優 3 \times 修得単位数) + (良 2 \times 修得単位数) + (可 1 \times 修得単位数)}{\text{総履修登録単位数}}$	
<p>■概要</p> <p>本学では学生の成績の客観的な指標として、GPA (グレード・ポイント・アベレージ) を採用している。その上で、学生の相対的な成績状況を把握している。また、学生の成績を各学科の専任教員等に情報を共有し、履修指導や各種奨学金等に関することなど、学生指導への活用などを行っている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>本学 Web サイトにおいて公表。</p> <p>https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/</p>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■大学のディプロマ・ポリシー

尚綱大学・尚綱大学短期大学部 ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

■概要

各学科においてディプロマ・ポリシー (学位授与方針) を定めており、2年間においてそれらの資質・能力を満たすために、カリキュラムの中にある授業科目を履修することで、学位が授与される。また、尚綱大学短期大学部学則において卒業認定に関する事項が記載されているが、卒業に必要な最低単位数や卒業要件 (卒業資格) は、各学科の履修規程において記載されている。

各学科の卒業要件 (卒業資格) に達した学生は、学年又は学期の終わりに、教授会の議を経て、学長が卒業を認定することになっており、その卒業認定の結果については、学内の掲示板への掲示等により学生に通知することになっている。

参考：

尚綱大学短期大学部学則第 29 条

尚綱大学短期大学部履修規程第 4 条

[https://www.shokei-](https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf)

[gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf](https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf)

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学 Web サイトにおいて公表。

[https://www.shokei-](https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy)

[gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy](https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R05.pdf
収支計算書又は損益計算書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R05.pdf
財産目録	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R05.pdf
事業報告書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R05.pdf
監事による監査報告(書)	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R05.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和6年度学校法人尚絅学園事業計画書 対象年度:令和6年度)
公表方法:本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/r6_jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第二期中長期計画~2023年4月~2033年3月~ 対象年度:(令和5年~令和14年)
公表方法:本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/dai2ki_keikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合生活学科
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf
（概要） 総合生活学科は、情報・福祉・衣食住などを基礎的総合的に学び、現代生活への理解を深め、より良い家庭や地域を創造する能力と実践的スキルを身につけた人材を育成することを目的とする。（尚絅大学短期大学部学則第 4 条）
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy
（概要） 総合生活学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（生活学）」の学位を授与します。 （1）文化・社会や自然に関する知識を体系的に理解するとともに、主体的な学びを通して豊かな人間性を培い、良識のある社会人としての教養や態度を身につけている。 （2）生活に関連する情報、福祉・健康、アパレル・インテリアの領域において専門的知識・実践的スキルを身につけ、実生活に活かし役立てることができる。 （3）自らの倫理観・職業観を確立し、現代社会の諸問題に対して主体的に考え、行動することができる。 （4）様々な手法による情報活用能力を身につけ、様々な人々とコミュニケーションをとりながら、自らの意見を適切に表現し、良好な人間関係を発展させることができる。 （5）多様な立場の人々を理解するとともに協力しあい、地域社会に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy
（概要） 総合生活学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。 （1）基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教養科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 （2）教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の 4 領域により編成します。 （3）初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識とスキルを積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。 （4）専門教育科目は、キャリア教育を含め、ビジネス社会に必要な知識・技術を身につける「医療事務・情報ビジネス」、福祉現場等で必要な知識・技術を身につける「福祉ウェルネス」、ファッション・インテリア業界等で求められる知識・技術を習得する「生活デザイン」の 3 つの領域に区分します。これら 3 つの領域の専門知識を習得するとともに技術を身につけるため、講義の他に演習や実習科目を配置します。

(5) 実践力及び応用力を伸ばすために「インターンシップ」「卒業演習」「女性と社会」「ボランティア実習」等の科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy

（概要）

総合生活学科は、質の高い家庭・社会生活の創造に関心を持ち、地域社会で活躍したい次のような学生を求めます。

- (1) 情報・福祉・衣食住に関連した専門的知識・実践的スキルを主体的に身につけ、実生活に活かす意欲がある人
- (2) 現代社会の諸問題に対して、自らの倫理観・職業観を踏まえて適切に意見を表現しようとする人
- (3) 多様な立場の人々とコミュニケーションをとりながら理解・協力し合い、地域社会に貢献できる人

入学を希望する人には、高等学校等において基礎学力を習得し、多様な活動を通じて豊かな表現力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等を通じて、様々な分野で主体的に協働できる能力を身につけるために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜及び外国にルーツを持つ生徒対象選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語、生物基礎、化学基礎、食品製造、家庭基礎から2教科2科目の記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、外部検定試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

家庭基礎について、家庭科技術検定（被服製作技術検定・食物調理技術検定）を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、家庭科技術検定の得点と比較し、高得点の方を採用します。

なお、家庭基礎でのみなし得点を適用した場合には、家庭科技術検定の調査書への加点は行いません。

英語と家庭基礎の二科目で受験する場合は、みなし得点の適用は何れか一科目のみとします。

- ・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・大学入学共通テスト利用型選抜では、2教科2科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・社会人選抜では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、大学入学志望

理由書及び面接において社会人としての実績や経験に基づく知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。
- ・外国にルーツを持つ生徒対象選抜では、自己申告書及び面接において基礎的な日本語能力を、調査書において知識・技能、学習する意欲等を総合的に評価します。
- ・一般選抜でみなし得点制度を利用する場合を除く入試区分において、家庭科技術検定（被服製作技術検定・食物調理技術検定）3級以上の取得に対し、調査書配点の満点を超えない範囲（1級：最大20%、2級：最大12%、3級：最大8%）で加点します。

学部等名 食物栄養学科

教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf

（概要）

食物栄養学科は、食を通じて人の健康づくりに貢献できる栄養士を育成するため、専門分野の講義、実験・実習により栄養士養成課程としての基礎及び応用理論を学び、幅広い知識・技術・能力を身につけた実践力のある人材の養成を目的とする。（尚綱大学短期大学部学則第4条）

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

（概要）

食物栄養学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（食物栄養学）」の学位を授与します。

- (1) 文化・社会や自然・生命に関する広い知識を身につけている。
- (2) 食物、栄養および健康に関する深い専門的知識を身につけている。
- (3) 食物、栄養および健康に関する諸問題に対して興味・関心を持ち、自ら分析・解決するための思考・判断力を身につけている。
- (4) 食を通じて人々の健康の増進・疾病の予防に貢献するための実践的スキルを身につけている。
- (5) 多様化する社会の要求に柔軟に対応するための豊かな表現力とコミュニケーション力を身につけている。
- (6) 知識を基にさまざまな思考様式や価値を理解し、知を高める主体的な意欲・態度を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy

（概要）

食物栄養学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。

- (1) 基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教養科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。
- (2) 教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の4領域により編成します。
- (3) 初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識と

技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。

- (4) 栄養士法施行規則に基づき、専門教育科目を「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」および「給食の運営」の6領域に区分します。さらに、質の高い栄養士の育成を目的として「その他関連項目」を配置します。
- (5) 専門教育科目のうち、栄養学的専門知識とその理論を習得する上で必須と位置づけられる科目を必修科目とします。さらに、選択科目の中でも特に栄養士業務を遂行する上で習得が必須となる科目を「栄養士免許必修科目」として配置します。栄養士免許必修科目は卒業要件とはならないが、栄養士免許取得には必須となる科目です。
- (6) 専門教育科目の中に、栄養学の理論と知識を基礎とし、さらに栄養士としての実践的能力および技術を身に付けるための実験・実習科目を配置します。具体的な到達目標は、「食品、調理素材の特性や地域性を生かした献立作成能力と調理技術の修得」「疾病の予防と治療のための食事療法の理解と実践能力の育成」「成長期の子どもから高齢者までのライフステージ別の特徴に応じた栄養管理法の修得」および「大量調理における衛生管理や対象者の嗜好に配慮した給食の運営方法の修得」です。また、2年次には実践活動の場として3箇所（学校・保育所、事業所および病院）での校外実習を行います。これらの専門教育科目は学生の能動的学修の充実を図るものであり、同時にキャリア教育の一環としても位置づけます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy

（概要）

食物栄養学科は、高い倫理観に加えて高度な知識と技術を身につけ、実践力を有する栄養士として健康を食の面から支え社会に役立ちたいと思っている次のような学生を求めます。

- (1) 高等学校卒業程度の基礎学力を有している人
- (2) 人の健康づくりに興味があり、基本から主体的かつ体系的に学んで栄養士になりたいと思う人
- (3) 次世代を担う成長期の子どもを対象に食育の推進に貢献したい人
- (4) 疾病の予防と治療のための食事療法について学び、その知識・技術や課題解決のための思考力・判断力を社会で生かして活躍したいと考えている人
- (5) 高齢者をはじめとする福祉の分野で食を通して生活の質の向上を支援したい人
- (6) 食物・栄養・健康に関する幅広い知識・技術や課題解決のための思考力・判断力を家庭や地域社会の健康管理に役立てたいと思う人

入学を希望する人には、高等学校等において、栄養学の基礎となる生物学や化学などの理数系科目の基礎知識と思考力を習得し、また、他者とのコミュニケーションを円滑に行うための能力を身につけていることを望みます。これらの学力・能力は、入学後の授業等において専門性の高い問題に対する自己解決力の基礎となることは勿論、他の学生と協働して様々な課題を探索・解決するための能力を育成するためにも必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜及び外国にルーツを持つ生徒対象選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語、生物基礎、化学基礎、食品製造、家庭基礎から2教科2科目の記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験

する場合は、外部検定試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。
家庭基礎について、家庭科技術検定（食物調理技術検定）を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、家庭科技術検定の得点と比較し、高得点の方を採用します。

なお、家庭基礎でのみなし得点を適用した場合には、家庭科技術検定の調査書への加点は行いません。

英語と家庭基礎の二科目で受験する場合は、みなし得点の適用はどれか一科目のみとします。

- ・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験、調査書及び自己申告書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、英語、理科、数学から2教科2科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・社会人選抜では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、大学入学志望理由書及び面接において社会人としての実績や経験に基づく知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。
外国にルーツを持つ生徒対象選抜では、自己申告書及び面接において基礎的な日本語能力を、調査書において知識・技能、学習する意欲等を総合的に評価します。
- ・一般選抜でみなし得点制度を利用する場合を除く入試区分において、家庭科技術検定（食物調理技術検定）3級以上の取得に対し、調査書配点の満点を超えない範囲（1級：最大20%、2級：最大12%、3級：最大8%）で加点します。

学部等名 幼児教育学科

教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf

（概要）

幼児教育学科は、建学の精神及び教育理念に則り、子どもの心、遊び、発達、健康などについて基礎的総合的な理解を深め、健やかな生活、遊びを導く実践的な保育者の技量を養い、子どもに信頼され慕われる人間性豊かな幼稚園教諭・保育士・保育教諭を養成し、社会の保育に貢献する女性を育成することを目的とする。（尚絅大学短期大学部学則第4条）

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

<p>(概要)</p> <p>幼児教育学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（幼児教育学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育・教育に関する基本的な理解ができています。 (2) 子どもの権利、福祉についての見識、問題意識が備わっている。 (3) 子どもの成長、発達、健康、保健、食などについて、生活や活動を発展・充実させるための総合的な理解ができています。 (4) 子どもの表現や遊び、生活・活動等を豊かにする保育・教育の実践的な技量が備わっている。 (5) 子どもの発達や子どもを取り巻く環境などを理解し、適切に対応しようとする態度が備わっている。 (6) 保育についての実践と省察を重ね、保育者としての資質・能力が備わっている。 (7) 保育の世界や地域社会に関わる態度と意欲が備わっている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy</p>
<p>(概要)</p> <p>幼児教育学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教養科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 (2) 教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の4領域により編成します。 (3) 初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。 (4) 専門教育科目では、教職に関する法令及び「指定保育士養成施設の指定及び運営に関する基準」に基づき、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得を目指し、必要とされる知識・技能を、各分野において基礎から系統的に深めるとともに、保育実習や教育実習での実践とも関連づけて学ぶことができるように科目を配置します。 (5) 個性ある保育者を養成するために、保育に必要とされる各領域の専門性を高める選択科目を配置します。また各自が特に専門領域について学びを深めるための必修科目として小グループのゼミ形式で行われる専門研究を配置します。 (6) 保育者としての知識・技能を深め、理論と実践の融合を図るため、附属こども園及び学外の認定こども園、幼稚園、保育所、児童福祉施設等での実習を、法令等に基づき、適切な時期に配置します。 (7) 2年次後期には、2年間の学修成果を統合するとともに、各自が履修カルテにより学修状況振り返り、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得するにあたっての長所を確認し、課題を克服することができるよう「保育・教職実践演習」を配置します。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy</p>
<p>(概要)</p> <p>尚綱大学短期大学部は、尚綱学園の建学の精神・教育理念及び大学の理念を理解し尊重する学生を求めます。</p> <p>幼児教育学科は、子どもに寄り添い、子どもの成長、発達を豊かに育むことのできる確かな知識と実践力を有する保育者の育成を旨としています。そのために子どもの世界に関心と意欲を持つ次のような学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの世界（こころ、生活、遊び、健康等）に関心を持ち、そのための理論と技量を身につけたいと考える人 (2) 子どもの権利や福祉に関心を持つ人

(3) 保育職（幼稚園教諭、保育士、保育教諭、施設保育士）に就き、地域社会に貢献したいと考える人

(4) 保育に必要な自己表現やコミュニケーションの能力を身につけたいと考える人

入学を希望する人には、高等学校等において集団的な活動、社会的な活動を通じた主体性・協働性や、コミュニケーション力の基礎を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等において、様々な世代や環境において、他者と協働できる能力を育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜及び外国にルーツを持つ生徒対象選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

- ・一般選抜では、国語、英語の2教科2科目の記述式試験、大学入学志望理由書及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

英語について、4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、外部検定試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

- ・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験、大学入学志望理由書及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語と国語以外の1教科1科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力、知識・技能と共に主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・社会人選抜では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、大学入学志望理由書及び面接において社会人としての実績や経験に基づく知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

- ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。

- ・外国にルーツを持つ生徒対象選抜では、自己申告書及び面接において基礎的な日本語能力を、調査書において知識・技能、学習する意欲等を総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 Web サイトにおいて公表

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
総合生活学科	—	2人	0人	1人	1人	0人	4人
食物栄養学科	—	3人	2人	1人	1人	3人	10人
幼児教育学科	—	4人	3人	2人	3人	0人	12人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				84人			84人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/teacher					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/fd							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合生活学科	65人	35人	53.8%	145人	73人	50.3%	-人	0人
食物栄養学科	80人	57人	71.3%	160人	118人	73.8%	-人	0人
幼児教育学科	100人	84人	84.0%	200人	196人	98.0%	-人	0人
合計	245人	176人	71.8%	505人	387人	76.6%	0人	0人
(備考) 総合生活学科においては、令和6年度より入学定員を80人から65人に減員								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合生活学科	48人 (100%)	3人 (6.3%)	40人 (83.3%)	5人 (10.4%)
食物栄養学科	54人 (100%)	10人 (18.5%)	43人 (79.6%)	1人 (1.9%)
幼児教育学科	130人 (100%)	0人 (0.0%)	130人 (100.0%)	0人 (0.0%)
合計	232人 (100%)	13人 (5.6%)	213人 (91.8%)	6人 (2.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<総合生活学科> 一般社団法人 soleil 就労継続支援 B 型 咲楽工房、医療法人長嶺南ファミリー歯科、いろどり歯科こ				

ども歯科クリニック、株式会社 NECT、株式会社 SYSKEN、株式会社あつまる山鹿シルク、株式会社アドルーム、株式会社育星会、株式会社熊本銀行、株式会社熊本ホテルキャッスル、株式会社サカイ引越センター、株式会社中央コンタクト、株式会社トライアンプ、株式会社ナルミヤ・インターナショナル、株式会社ハーモ、株式会社ハニーズ、株式会社バイブルック、くまもと新世紀株式会社 ホテル日航熊本、自衛隊熊本地方協力本部、社会医療法人令和会 熊本整形外科病院、セキミキ・グループ株式会社、せんだメディカルクリニック、独立行政法人国立病院機構九州グループ、としのり歯科、日本郵便株式会社、ハイコムビジネスサポート株式会社、マルキン食品株式会社、明治安田生命保険相互会社、八代森林組合、有限会社赤星薬局、ユウベルグループ、株式会社 F&B シモカワ、株式会社コスモス薬品

<食物栄養学科>

藍の村観光株式会社 リゾラザバード、一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター、医療法人城南ヘルスケアグループ くまもと南部広域病院、医療法人回生会 リハビリテーションセンター熊本回生会病院、医療法人熊愛会 熊本脳神経外科病院、医療法人グリーンヒル ウイメンズクリニックグリーンヒル、医療法人坂梨ハート会 坂梨ハートクリニック、医療法人社団育成会 北くまもと井上産婦人科医院、医療法人社団金森会 金森医院、医療法人城南ヘルスケアグループ くまもと南部広域病院、学校法人双羽学園 認定こども園双羽幼稚園、株式会社 LEOC、株式会社アダストリア、株式会社梅の花、株式会社ファーマダイワ、株式会社邦拓建設、菊陽町役場、コンパスグループ・ジャパン株式会社、社会福祉法人川岳福祉会 かわたけ保育園、社会福祉法人白川園 若草児童学園、社会福祉法人天水福祉事業会、社会福祉法人となかいま研究会 本妙寺こども園、社会福祉法人まりあ、社会福祉法人明芳会 ヴィラ・ながみね、社会福祉法人明芳会 特別養護老人ホームヴィラ・ながみね、社会福祉法人湧水会 さくらんぼ保育園、社会福祉法人健成会 特別養護老人ホームみゆき園、特定医療法人佐藤会 弓削病院、独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院、安田建物管理株式会社、淀川食品株式会社、リハプライム株式会社

<幼児教育学科>

学校法人愛和学苑 幼保連携型認定こども園大津音楽幼稚園、学校法人愛和学苑 幼保連携型認定こども園亀の子幼稚園、学校法人愛和学苑 幼保連携型認定こども園西部音楽幼稚園

、学校法人熊本音楽学園 武蔵ヶ丘幼稚園、学校法人尚綱学園 尚綱大学附属こども園、学校法人第一学園 合志こども園、学校法人第一学園 杉並台保育園、学校法人第一学園 第二幼稚園、学校法人天神学園 幼保連携型認定こども園くるみ幼稚園、学校法人中九州第二学園 認定こども園わかさ幼稚園、学校法人花陵学園 花陵幼稚園、学校法人光寿学園 ルンビニー幼稚園、学校法人開新学園 幼保連携型認定こども園ながみねこども園、学校法人双羽学園 認定こども園双羽幼稚園、学校法人みゆき学園 幼保連携型認定こども園恵水幼稚園、学校法人和孝学園 ちぐさ幼稚園、社会福祉法人愛和学院 元気の森ラビット保育園、社会福祉法人あゆむ あゆむ保育園、社会福祉法人育遊会 網津保育園、社会福祉法人石水会 幼保連携型認定こども園中原こども園、社会福祉法人一実会 りんどう保育園、社会福祉法人恵寿会 認定こども園みどりの里、社会福祉法人佳徳会 かえでの森こども園、社会福祉法人上ノ郷福祉会 幼保連携型認定こども園なないろこども園、社会福祉法人喜育園立 喜育こども園、社会福祉法人菊豊会 菊池第二さくら幼稚園、社会福祉法人菊陽会 もみじ園、社会福祉法人敬愛福祉会 敬愛保育園、社会福祉法人啓世会 天領保育園、社会福祉法人敬和会 山鹿こども園、社会福祉法人健児福祉会 宇土ありあけ保育園、社会福祉法人向真会 幼保連携型認定こども園千草保育園、社会福祉法人こころ 保育園こころ、社会福祉法人秋桜会 大津あゆみ園、社会福祉法人三澄会 幼保連携型認定こども園くほんじこども園、社会福祉法人慈愛園 熊本ライトハウスのぞみホーム、社会福祉法人慈愛園 ひかり幼児園、社会福祉法人清水ヶ丘福祉会 清水ヶ丘こども園、社会福祉法人城北会 ぱんだ保育園、社会福祉法人白富会 木の葉保育園、社会福祉法人白富会 幼保連携型認定こども園木の葉こども園、社会福祉法人真愛福祉会 愛保育園、社会福祉法人杉水福祉会 杉水保育園、社会福祉法人聖嬰会 児童養護施設熊本天使園、社会福祉法人善照福祉会 かもと乳児保育園、社会福祉法人大道福祉会 山鹿若葉保育園、社会福祉法人高江福祉会 幼保連携型認定こども園青いほしこども園、

社会福祉法人託麻福祉会 こまどり保育園、社会福祉法人託麻南福祉会 幼保連携型認定こども園つばめこども園、社会福祉法人託麻寮 はけみや保育園、社会福祉法人たけのこ会 菊池幼楽園、社会福祉法人竹葉会 内牧保育園、社会福祉法人智恩福祉会 立売堀敬愛保育園、

社会福祉法人築添福祉会 パール保育園、社会福祉法人地の塩福祉会 こひつじ保育園、社会福祉法人つるまる福祉会 つるまる保育園、社会福祉法人天明福祉会 中緑保育園、社会福祉法人となかいま研究会 あいあい保育園、社会福祉法人日生会 あいな保育園、社会福祉法人野原福祉会 野原保育園、社会福祉法人光明童園、社会福祉法人冷水福祉会 田迎こども園、社会福祉法人福愛会 ひがしまち保育園、社会福祉法人福芳会 光の森武蔵ヶ丘保育園、社会福祉法人藤崎台童園、社会福祉法人二見中央福祉会 なかよし保育園、社会福祉法人まどか会 大津幼稚園、社会福祉法人まどか会 古城保育園、社会福祉法人宮ノ本福祉会 幼保連携型認定こども園そよかぜこども園、社会福祉法人三山会 幼保連携型認定こども園青空保育園、社会福祉法人御幸福福祉会 リズム幼稚園、社会福祉法人睦美福祉会 むつみ保育園、社会福祉法人靖共会 幼保連携型認定こども園ひでみ保育園、社会福祉法人八代ひかり福祉会 八代ひかり保育

園、社会福祉法人柳翔会 出水南保育園、社会福祉法人山清福祉会 幼保連携型認定こども園五丁こども園、社会福祉法人山清福祉会 幼保連携型認定こども園やまなみ、社会福祉法人山清福祉会 幼保連携型認定こども園やまなみ、社会福祉法人芳野福祉会 ことりの家保育園、社会福祉法人芳野福祉会 幼保連携型認定こども園やまばとこども園、社会福祉法人緑翠会 緑川保育園、社会福祉法人緑風会 玉名くすのき保育園、社会福祉法人緑風会 ぬかみね保育園、社会福祉法人わかき福祉会 不知火保育園、社会福祉法人若葉福祉会 若葉幼愛園、社会福祉法人湧水福祉会 さくらんぼ保育園、社会福祉法人和聖福祉会 みらい保育園、龍山学苑、独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター「めだか保育園」、南小国町役場、有限会社 IQ キッズ、有限会社幼光園 幼育学園幼光園、一般社団法人クローバー 栗の木保育園、医療法人伸生紀 企業主導型保育事業コスモピア保育園、学童クラブきくよう NPO 法人子育てサポート、株式会社アイグラン アイグラン保育園尾ノ上、株式会社タスク・フォース 東京三軒茶屋園、株式会社タスク・フォース ポポラー熊本水前寺公園、株式会社ティーステップ Switch 嘉島 with T-STEP、株式会社ラディカ そらいろ保育園、こころ株式会社 おやまひよこ保育園

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
総合生活学科	53人 (100%)	48人 (90.6%)	1人 (1.9%)	4人 (7.5%)	0人 (0%)
食物栄養学科	64人 (100%)	54人 (84.4%)	1人 (1.5%)	9人 (14.1%)	0人 (0%)
幼児教育学科	141人 (100%)	130人 (92.2%)	7人 (5.0%)	4人 (2.8%)	0人 (0%)
合計	258人 (100%)	232人 (89.9%)	9人 (3.5%)	17人 (6.6%)	0人 (0%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

尚綱大学授業計画作成手引き

(URL:<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure>)

各学部の授業科目のシラバス一覧

<https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/> (ゲストユーザーからログイン)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

尚綱大学短期大学部学則第 12 条に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学短期大学部学則第 23 条及び第 29 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関与しているかを明示するよう求める。

具体的には「授業概要」「キーワード」「事前・事後学修」「課題と評価の方法」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を

達成し、学力試験及び受講状況その他により認定のうえ、合格した者に単位を認定するものとする。

最終的に2年以上在学し、所定の授業を履修したうえで、62単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。

(根拠学則)

尚綱大学短期大学部学則第12条、同第23条、同第29条

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/10_gakusoku_tanki.pdf

尚綱大学短期大学部におけるグレート・ポイント・アベレージ (GPA) 制度に関する規程

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure>

尚綱大学短期大学部ディプロマ・ポリシー

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	総合生活学科	62 単位	㊥・無	49 単位
	食物栄養学科	62 単位	㊥・無	49 単位
	幼児教育学科	62 単位	㊥・無	49 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本学の Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2019/12_gpa_tanki.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学の Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2024/24_bunpu_tanki.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学 Web サイトにて公表

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/kuhonji> (九品寺)

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/musashi> (武蔵ヶ丘)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
短期大学部	総合生活学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	施設設備資金、 休学納付金
	食物栄養学科	670,000 円	220,000 円	310,000 円	施設設備資金、 休学納付金
	幼児教育学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	施設設備資金、 休学納付金

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

学修支援センター

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/gakusyu/>

平成 29 年 4 月に学修支援センターを設置し、授業についていけない、学修の方法が分からない、レポートの書き方が分からない、就職試験の一般教養に自信がない、編入学のための準備の仕方が分からない等々の悩みや不安に寄り添い、日々の学修活動がスムーズにいくように支援している。

具体的には、高校までの学習内容の復習や授業内容の補習の他、個別の学習・履修相談、資格取得等の幅広い相談にも応え、九品寺及び武蔵ヶ丘両キャンパスで数学または英語のサポート教科を開講している。また、九品寺キャンパスにおいては管理栄養士の国家試験合格が求められる生活科学部の学生を中心に生物・化学の学習支援のほか、国際交流協定校での語学留学に向けた英語、中国語、韓国語のスキルアップや諸外国の海外事情等のレクチャーを行うなどの支援を行っている。

このほか、学修相談、履修相談を両キャンパス教務課で行い、スムーズな履修登録が行えるよう指導している。

学修環境について、九品寺キャンパスでは大学図書館のグループ学習室、武蔵ヶ丘キャンパスでは大学2号館にスタディールームを設け、サポートを行う教科を開講し、学生の自習等に利用できるよう整備している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

就職・進路支援センター

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/career/>

就職・進路支援センターでは、学生の多様なニーズに対応し、希望の就職・進路の実現をサポートしており、①個別支援（履歴書・エントリーシート対策、キャリアカウンセリング、模擬面接）②就職支援・資格取得支援（就職対策講座、簿記検定対策講座）③就職支援プログラム（インターンシップ、経営者による講演、会社説明会、企業研究会）④キャリアガイダンス（専門家や社会人による講演、合同会社説明会兼企業研究会、模擬面接、SPI 試験対策講座、メイク・マナー講座）など希望の就職・進路の実現ができるようバックアップの体制を整えている。学生の希望をしっかりと聞き取り、本人に寄り添いながら人生設計を踏まえ将来のビジョンを共に考えるなど、最適な就職・進路の選択や決定ができるよう支援を行い、夢や希望を実現させるための充実した就職支援体制を整えている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

九品寺キャンパス及び武蔵ヶ丘キャンパスに学生支援課を置き、学生生活に関すること全般にわたり支援を行っている。特に学生の心身の健康等に係る支援に関する取組みについては、以下のとおりである。

- ・各キャンパスにおいて年1回（4月）に健康診断を実施し、学生の健康状態を把握する。
- ・各キャンパスにおいて、保健室（養護教諭を置く）を設置し、学生の健康状態を把握する。
- ・各キャンパスにカウンセラー室を設置し、週1回、臨床心理士又はソーシャルワーカー（社会福祉士）による相談を受け付けている。

これらについては、学生の健康状態、心身の相談状況等を学生支援課、保健室、カウンセラー、キャンパスソーシャルワーカーで連携し、学生の状況について改善を図るよう努めている。

このほか、新入生に対し「学生支援講座」を開講し、学生に対し「薬物乱用防止」、「こころの健康」、「女性の健康」の講話を受講させ、心身の健康に係る支援を行っては声掛けをして必要な対応や支援を行うことを予定している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 Web サイトにおいて公表

<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F243310111389
学校名 (〇〇大学 等)	尚綱大学短期大学部
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人尚綱学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		85人	75人	74人
内訳	第Ⅰ区分	47人	51人	
	第Ⅱ区分	21人	－	
	第Ⅲ区分	17人	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				－
合計 (年間)				74人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	—	—
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	—	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	—	—
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	19人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	—	0人
計	人	19人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。